

一般質問

6 小川 圭二 (天政会)

● 崎津集落世界遺産登録5周年における地域振興について



小川 中学生ボランティアガイドと世界遺産学の今後の取組は。

観光文化部長 ボランティアガイドは大変好評だが、生徒に過度の負担とならないよう取り組む。

学校教育課長 世界遺産学は天草の歴史の価値やその良さを実感し、郷土を誇りに思い、大切にしていける気持ちを育てている。

教育部長 今後も継続したい。

小川 5周年記念という冠に銘打ち、事業展開を実施されるが、その内容はどのようなものか。



▲河浦中学校観光ボランティアガイド

観光文化部長 記念事業として、有識者を招いたシンポジウムやPRイベント等の開催のほか、子どもたちが天草のキリシタン史を学べる副読本を作成する。

小川 市長の施政方針に、「市民の皆様と『崎津・今富の文化的景観』の重要性や資産価値を共有し、さらなる魅力向上に努める」とあったが、5周年を迎えるにあたり、市長の思いと、今後の取組は。

市長 世界と約束した文化遺産の永続的な「保全・継承」と、これを最大限に活用した「魅力ある地域づくり」に、全身全霊で取り組んでいく覚悟である。市民の皆様にも、地域づくりに対してさらなる積極的な取組をお願いする。

小川 市長や執行部は、地域住民が一番だということを肝に銘じ、地域振興・活性化をこれまで以上に実施することを要望する。

7 浜崎 昭臣 (政友会)

● 「道の駅」「夕陽の駅」牛深港交流人口倍増計画について



浜崎 道の駅について問う。

市長 道の駅は快適な旅の拠点施設。観光客を呼び込み、島内周遊と滞在時間延長を図るため、機能充実し、魅力的な施設としたい。

浜崎 天草市総入り込み客数約270万人のうち牛深港からは約16万人(約6%)。「南天草牛深」から交流人口を増やすための方策を模索すべきではないか。

市長 出水・長島間のバスに本市の魅力的な観光資源をラッピングなどでPRし、観光の利用促進に努める。また、鹿児島方面を見据え、南からの多様な天草の周遊を旅行会社等を通じ、周知していく。

浜崎 うしぶか海彩館2階の牛深港観光案内所跡を「夕陽の駅」にできないか。「道の駅」「海の駅」を生かし、相乗効果で必ず盛り上げられると思われる。また、ウッドデッキや24時間開放の休憩所の見直し、トイレ改修など早急な対応をお願いする。



▲牛深港と長島港を結ぶフェリー



8 浜崎 義昭 (日本共産党)

● 学校給食のオーガニック食材の導入 ● 海洋プラスチックごみに関する市の取組の方向性



浜崎 全国の自治体での取組には農林水産省が策定した持続可能な食料システム戦略等を利用したオーガニック給食の導入で保護者の負担軽減につながった事例がある。全国各地でそれぞれの立場を越え、給食をオーガニックに変えようとする動きがあるが、本市の取組は。

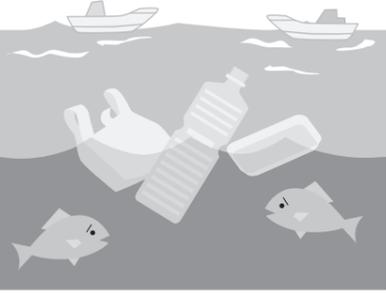
学校給食課長 学校給食での有機栽培食材使用(オーガニック給食)については課題もあり、すぐに開始できる環境でないため、地元産の食材をできる限り使用している。

浜崎 天草高校科学部と市議会市民生活委員会との意見交換会を開催したところ、高校生から「海洋ごみの今後の取組がいかに大事か」「天草の自然を守っていくためには何が必要か」などの意見が出た。若い世代は、危機感を募らせ今のうちに何らかの手を打つことが大事だと訴えている。行政としてどのような方向性を持っているか。

市民生活部長 海洋プラスチックごみ対策については、国や県でも重点化されており、本市も取組を強化している。国の支援策などを注視し、活用していきたい。

浜崎 海洋の実態を把握している漁業者を介しての海洋プラスチックごみ調査は考えられないか。

市民生活部長 環境省と水産庁が連携し海底ごみ回収に係るマニュアルを策定中であり、国の発表後に検討していく。



9 吉田 修 (無党派)

● 子ども達が安心して学び成長できる環境について



吉田 【教育環境について】

吉田 学校でのタブレットの活用は、ICT人材の育成と教職員の業務改善を担っていると考えるが、教職員の負担軽減や労働環境の改善に寄与しているのか。

教育部長 校務支援ソフトの活用により手書きや手入力の作業時間が縮減された。また、教材のペーパーレス化で印刷等の負担が大幅に軽減されている。会議・研修についてもオンラインミーティングにより移動時間が不要となるなど負担軽減効果は大きいと考える。

吉田 児童生徒の出欠連絡をオンライン化できないか。

教育部長 大規模校など既設アプリを活用してオンラインでの欠席連絡をしている学校もある。その他の学校についても検討を進めている。

吉田 【危険遊具について】本渡南小に設置の遊具「のぼり山」の概要と認識について。



▲立入禁止の「のぼり山」

教育総務課長 創立百周年記念事業期成会で設置した遊具である。現在は腐食など著しい老朽化に伴い、安全に使用できない状態であり、使用を禁止している。

吉田 危険遊具をそのままにしておくわけにはいかない。「のぼり山」は解体すべきだと思うがいかがか。

教育総務課長 「のぼり山」の規模から考えると改修は困難。解体する方向で検討を進めている。

